

DQMJ— future  
professional

ZUNEZUNE

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

?ぼうけんをする

ぼうけんのしよをつくる

ぼうけんのしよをけす

ミライ

けもきち——レベル5

ドラクエモンスターズのジョーカーシリーズの二次創作です。原作シリーズへの解釈違い、にわか知識などございますがそれでもいいという寛大なドラクエファンは是非ご覧ください。

※更新不定

# 目次

|       |              |
|-------|--------------|
| 冒険の書1 | 駆け出しのモンスターマス |
| 1     | 1            |

## 冒険の書1 駆け出しのモンスターマスター

「——落ち着こう、真のマスターは常に冷静だ」

生い茂る密林の中、俺は独り言を呟く。今流している汗は熱帯雨林の湿度によるものではなく冷や汗。この危機的状況をどう打破するのか、今一度状況を確認しなければならぬ。

現在単独行動中、パートナーとは分断され孤独だ。俺一人ではどうにもならないだろう。ならば今持っている物で何とかならないか？

——やくそう、せいすい、まものエサ、なけなしの金で買ったそのアイテムは決して良い代物とは言えるものではない。やくそうとせいすいはまずアイツがいなきや何の役にもたたない。まものエサで新しい仲間をスカウトする手もあるが、これも俺一人では確率が少なすぎる。近くに飢えているモンスターがいなければの話だが。

(取り敢えず動かないと何も始まらない、慎重に動いて……)

ゆつくりと足を進めていき、今さっきまで追ってきた「それ」に気づかれないようにする。しかし運が悪いことに、足を下ろした場所に枝がありパキリと割れてしまう。

その音を聞きつけた「それ」が、轟音を鳴らし飛び出してくる。

『ウゴアアアアアアアッ!!』

「ぎゃーーーーーッ?!?!?」

突如として動き始める大木、根っこが足のように歩幅を描き枝が手のように分かれる。正面には赤く光る眼と大きな口が形成され、物凄い形相でこちらに向かってくる。捕まったらおしまいだ、全速力で逃げた。

(じんめんじゅ! バトルじゃあんまり強い印象は無いけど俺にとっては強敵……訂正!今の俺にとっては強敵!)

自然系のモンスターの代表格といっても過言ではないじんめんじゅ、俺たちはうつかりその縄張りに入ってしまったこうして追われているわけだ。きっかけは最悪、この様子じゃ言葉も通じないだろう。まものエサに見向きもしないとみた。

「いつか最強マスターになる俺がじんめんじゅに丸のみされて教会で生き返るなんてことはあつてはならない! そもそも協会なんざ自宅近くにねえ!」

ここで捕まったら死ぬのは確実、意地でも生き延びてこの世界から脱出しなければならぬ。でもこのままだと追いつかれてしまう。やがてじんめんじゅの間合いの中に入りそうになり、思わず俺はパートナーの名前を叫んだ。

「けもきちーーーー!! 助けてくれーーーー!!」

「全く世話のかかる——マスターだぜ!!」

けもきちの かぶとわり!

空から聞こえる声、見上げると同時に上から毛玉が落ちてきてじんめんじゆの頭部を叩いた。じんめんじゆの悲鳴が森に響き、その根っここの歩みを止める。

守備力を下げる「かぶとわり」、そしてこの聞き覚えのある声はあいつしかいない。

「けもきち! 遅えぞ!」

「全く来て早々バラけるとは運が無かったな!」

けものきし のけもきち。こいつが俺のパートナーであり最初に貰ったモンスター。コアラの姿で斧を翳し、小さな体と言えど強敵に立ち向かう。

今ぶつけたかぶとわりでじんめんじゆは弱くなっているはずだ、仲間とも合流できたところで作るなら今しかない!

「よっしゃけもきち! まずはこいつをぶっ飛ばすぞ! 守備力が下がったところにメラだ!」

「おっしや任せろ……っつて」

反撃開始、そう指示を入れようとすると攻撃された頭を搔いているじんめんじゆを見て思わず思考停止してしまう。かぶとわりで弱くなるどころか、バイキルトでもかけられたように怒りで力溢れているように見える。それを見た俺たちは、一気に青ざめる。

「……もしかして、守備力下げミスってる？」

「……もしかしなくても、そうだな」

じんめんじゆの ふしぎなおどり！

やがてじんめんじゆはその場でおかしな踊りを始める。その瞬間力が抜けるようにけもきちの体から淡い色の光が透けていく。放つ寸前だったメラは、燃えカスとなって消えてしまう。

けもきちの メラ！

しかしMPが たりない！

「あつやべ、MP全部減らされた」



「えっ」

じんめんじゆに良く効くはずの炎系呪文「メラ」も「ふしぎなおどり」でMPを消費して不発に終わる。踏んだり蹴ったりの時に、容赦のないじんめんじゆの攻撃が迫った。

じんめんじゆの こうげき！

かいしんの いちげき！

「ぎよえー！ー！ー！ー！！??」

伸びる枝から炸裂する剛腕のラリアット、それをもろに受けたけもきちは盛大に吹っ飛び俺もまたそれに続く。加えて会心の一撃となり、空中でけもきちのHPはゼロとなった。

けもきちは しんでしまった！

ミライたちは ぜんめつした！

これは、モンスターマスターに憧れる青年の物語。人と魔物が共存する職業と世界、時に牙を剥き時に仲間として戦ってくれる、今やかけがえのない存在。

駆け出しのモンスターマスター「ミライ」と相棒のけもきちの冒険譚である——！